

社協だより



「赤い羽根共同募金運動」にご協力をお願いします



令和7年度記念
バッジデザイン

今年も10月1日から3か月にわたり、全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まります。

この運動は、誰もが安全・安心に暮らせるまちづくりをめざして行われており、地域福祉の充実・強化を財政面で支える大きな力となっています。

河内長野地区募金会では、目標額を6,700,000円と設定し、戸別募金・法人募金・学校募金・街頭募金・関係機関募金活動を実施します。

お寄せいただいた募金は、大阪府共同募金会を経て翌年に河内長野市社会福祉協議会（以下「社協」）や市内の福祉施設などに配分され活用されるほか、災害時の備えのために使われています。

今年も皆様のご協力を
お願いします。



スマホから
でも募金
できます。



◀ ▲ 「昨年の街頭募金活動」の様子

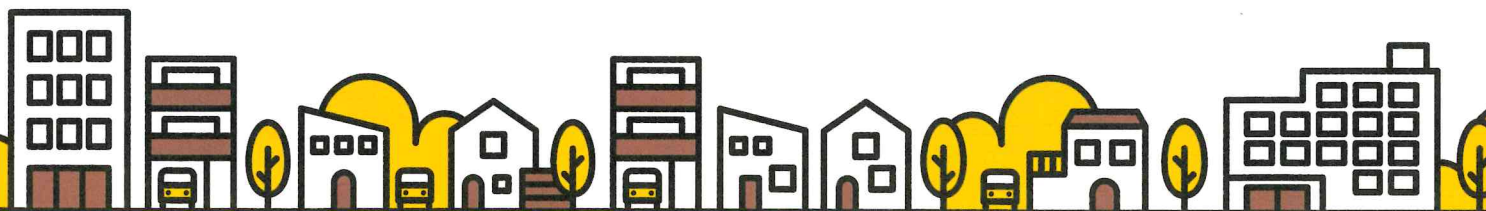
昨年度の実績

種 別	実績額 (円)
戸 別 募 金	1,917,844
法 人 募 金	904,434
学 校 募 金	231,295
街 頭 募 金	197,957
関 係 機 関 募 金	814,117
そ の 他 募 金 (ハートフルベンダー)	3,642
合 計	4,069,289

今年度の配分金

昨年度、皆様からご協力いただいた募金の実績は4,069,289円でした。また、令和7年度配分金として、社協へ3,002,494円が助成され、下記の事業に活用をしています。

- 地区（校区）福祉委員会事業への助成
- 心配ごと相談事業
- スロープ付き自動車の貸出し事業
- 地域の福祉活動を知っていただくための広報活動



地域の 人と人のつながりを 大切に!

その9

南花台福祉委員会

設立 2000年 福祉委員 34人

特徴

平成12年(2000年)設立、本年9月で25周年を迎えます。昭和57年頃に入居が開始された南花台の高齢化率は49.6%(うち70歳以上が40.1%)で住民の約半数が高齢者となりました。

「誰もが住み慣れた地域で安心して住み続けられるまちづくりの推進」に努め、70歳以上の独居高齢者などの見守り活動や、避難行動要支援者などの実態調査などにとりくんでいます。

当委員会は研修部、広報部、にこにこ部、ふれあい部の4つの部会と7つの丁目会で構成されています。またスポンジテニス(障がい者の親子の支援)も長年とりくんでいます。

大切にしているのは各丁目ごとの交流の場「ミニサロン」(障がい者と70歳以上の高齢者、月1回または隔月)です。内容は落語、箏笛、マジックショー、防犯や詐欺防止の話など、福祉委員や協力員が趣向を凝らして実施しています。参加者の「楽しかった



▲元気アップ体操の様子



▲ミニサロンの様子

た〜」「来月も来るわ」といった声に励まされています。年に1回、年齢を問わずに誰でも参加できる「スペシャルサロン」も実施していますので、どなたでもお気軽にご参加ください。

子育て支援として月1回第3日曜日に「にこにこサロン」を実施しています。日曜日に開催するとパパ達の参加も多く、また、まちづくり協議会が運営するふれあいテラス(毎週月・木)にも参加協力しています。たくさんの親子が第2の実家のような感覚で来てくれています。「南花台は子どもを育てるのにやさしい町だ」というママ達からの嬉しい声も聞かれます。

11月8日(土)には南花台小中学校で25周年記念事業を予定しています。



▲にこにこサロンの様子

あなたの得意が、 まちを元気に!

「人の話を聴くのが好き」「文書作成は得意かも」「地域のために何かしてみたいけど、きっかけがなくて…」そんなふうに感じたことはありませんか?

特別なスキルや経験は必要ありません。誰かの役に立ちたいという思いが、暮らしやすいまちにする力となります。

今回は新たな一歩を踏み出すきっかけとして3つの講習会を企画しました。

関心のある方はもちろん、これまで「福祉」に接点のなかった方も大歓迎です。

お気軽にご参加ください。

関地域福祉課

★☆☆ 要約筆記講習会 ☆☆ ~要約筆記ってなんなん?~

要約筆記とは、きこえない、またはきこえに不自由のある方々に、お話の内容をみじかくわかりやすくし、文字で伝えることをいいます。全3回の講習会を通して、要約筆記の基礎的な知識を学んだり、実際にどんなふうに要約筆記を行っているのか、見て知って、体験することができます。

実際に活動されている方々と一緒に、楽しく要約筆記について学んでみませんか。

開催日時

- ①10月18日(土) 午後1時30分~3時
- ②11月1日(土) 午後1時30分~3時
- ③11月15日(土) 午後1時30分~3時

講師 要約筆記サークル 葉月

場所 社会福祉協議会 会議室



▲昨年度の様子

☆☆☆ 傾聴ボランティア ☆☆☆ 養成講習会

傾聴とは、相手の話したいこと、伝えたいことを、相手の気持ちによりそい共感しながらじっくり耳を傾けることです。「聴いてもらうだけでほっとしたりすっきりする」そんな活動が傾聴ボランティアです。

この講習会では、相手に安心して話してもらえようなお話の聴き方などを学びます。

開催日時

- ①11月28日(金) 午後1時30分~3時30分
- ②12月5日(金) 午後1時30分~3時30分

講師 金剛こころの健康研究所

所長 中尾 みどり氏

(臨床心理士・臨床動作士)

場所 社会福祉協議会 会議室



★☆☆ つながり続けるための社会参加研修 ~地域共生社会をめざして~

年齢・心・体の状態が変わっても、社会に参加し続けることは大切です。無理なく地域活動続ける工夫や参加のヒントを学び、仲間と共に自分らしい関わり方を考えます。

開催日時 11月26日(水) 午後2時~3時30分

場所 イズミヤゆいテラス大多目的スペース

Information

おしゃべりコールの利用者を募集しています!



登録いただいたひとり暮らしなどの高齢者世帯のご自宅に毎週安否確認の電話をかけます。利用者の孤立感を和らげ安心して過ごしていただけるよう、ボランティア連絡会の会員が15分程度話をお聴きします。定期的な電話による声かけ（安否確認）の利用を希望される方は、お問い合わせください。

☎地域福祉課

女性の電話相談(さざんかの会)

一人で悩んでいませんか。気になること、聴いてほしいこと。どんなことでもいいですよ。電話でお話ししてみませんか。

070-4231-4400

番号を知られたくない方は、184をつけておかけください

相談無料
秘密厳守

日時 毎週木曜日（年末年始・祝日は休み）
午前11時～午後2時30分
「さざんかの会」の活動に興味のある方は、お問い合わせください。

☎地域福祉課



（令和7年5月～7月分）
（順不同・敬称略）

- | | |
|----------------|-----------------|
| ☆一般寄付 計20,000円 | ○物品 |
| 匿名1件 | 一般預託 |
| ☆善意銀行 | ▽木村泰治・匿名2件 |
| ○現金 計70,000円 | 指定預託 |
| 指定預託 | ▽市内子ども食堂へ |
| ▽ごはんやday～ | 《株式会社いちふく・匿名1件》 |
| チーム市町～へ | ▽困窮者等の支援へ |
| 《井上智恵子》 | 《匿名1件》 |
| ▽市内子ども食堂へ | |
| 《匿名1件》 | |

献血にご協力ください

●市内献血スケジュール

実施日	開催場所	受付時間
10月14日(火)	オークワ河内長野店	午前10時～正午 午後1時～4時30分
11月11日(火)	河内長野市役所 市民サロン	午前10時～正午 午後1時～4時30分
12月9日(火)	ノバティながの北館 1階中央出入口前	午前10時～正午 午後1時～4時30分

※対象については18歳～64歳で体重50kg以上の方。
（男性は17歳から可・60歳から64歳で献血経験のある方は69歳まで可）
※日程、時間は変更になることもありますので予めご了承ください。
※輸血時の安全性を高めるため400ml献血のみ実施します。

入院相談・病院見学随時受付中です。地域連携室までお気軽にお問い合わせください。

内科 医療療養病床 病床数 281床

医療法人 弘生会



老寿やすらぎ病院

Rouju Yasuragi Hospital

大阪府河内長野市小山田町 379-5

☎ 0721 (55) 0200

<https://roujyu.jp>

老寿やすらぎ病院 🔍 検索



社会福祉法人 **河内長野市社会福祉協議会**

〒586-0033 河内長野市喜多町663-1

イズミヤSC河内長野 4階内

TEL. 0721-65-0133(代表) FAX. 0721-65-0143

次号は
令和8年1月1日発行予定

「協賛広告」募集!
詳細は社協へ

● ご意見・ご感想をお寄せください ●



<https://www.kawachinaganoshishakyo.or.jp>
<http://ksyakyou.blog90.fc2.com/blog-category-13.html>
<https://twitter.com/ksyakyou>
<https://www.kawachinaganoshishakyo.or.jp/zaitaku>
<https://www.kawachinaganoshishakyo.or.jp/peercenter>
<https://akaminex.jp>
<https://kinkeien.jp>



この広報誌の発行には赤い羽根共同募金助成金の一部を活用させていただいています。